

二〇一五年一〇月

通巻123号

沼津市明治史料館通信

岳陽少年団歌

青山於菟作歌

一、豊稔昇日日の御旗 高く舞うて若草や

早緑 白ふ香陵に 萌え出—岳陽少年団

二、梅の花の顔容に 若き血汐は漲りて

我等は日本男子なり 誓いの聲に力あり

三、抜けば玉散る剣太刀 鞘に納めて居たため

吉のたぬ磨く玉握の 木太刀の心忘れぬや

四、み空の極み地才極み 皆同胞と睦む世ぞ

文明是れ人のため 振へ岳陽少年団

於菟予が沼津市楊原尋常小学校長なりし

大正十年頃作詩したりしが、大正十一年

三十年を過ぎして忘却せしが、大正十五年

三月卒業の諸君が同窓生名簿に記載

されしと見て、敢て諸君に呈す

昭和三年一月吉原

の十六日

於菟

岳陽少年団歌
(杉山泰司氏寄贈)

大正10年頃、楊原尋常小学校々長であった青山於菟が作歌したもので、昭和43年(1968)、於菟が最晩年に書いたもの。楊原の元少年団員たちの中で受け継がれ、杉山泰司氏の父守男氏が所有していたもの。

大岡の「模範校長」 青山於菟

青山於菟は、明治一六年（一八八三）、志太郡大富村大島新田（現焼津市）の渡邊清助の二男として生まれた。実兄渡辺金作は幼くして学問を好み、旧幕臣關桐星に就いて漢籍を修め、静岡県師範学校に学び、小学校長を歴任し、静岡師範学校及び静岡高等女学校の教員を務めたという。於菟は静岡高等小学校（明治二二年志太・益津郡高等小学校の分校として開設。三九年静岡村外二ヶ村組合立高等小学校となり、同四一年、改正小学校令により廃校）を卒業後、一時家業につくが、母の死をきっかけに学問を志し、明治三二年（一八九九）、静岡県立師範学校に入学する。同三六年三月

に卒業するとすぐに教員となり、四月、母校である静岡高等小学校に訓導として赴任する。赴任して二か月後の六月、陸軍六週間現役兵として歩兵第三四連隊に入営し、七月一二日に満期除隊する。

除隊後の翌年、明治三七年（一九〇四）四月一日、駿東郡大岡尋常小学校訓導（現沼津市立大岡小学校）に任じられ、また同日、沼津の青山家に入籍している。

明治四〇年（一九〇七）九月、数え二五歳で大岡尋常高等小学校の校長を兼任することになった。在任中、明治四一年一〇月頃から、学校と家庭との連絡を密にするために各部落ごとに父兄懇話会を開くなど、学校

内外の改善に尽力し、同四二年（一九〇九）一〇月、

駿東教育会より表彰を受ける。四三年には高等科が設置され、生徒の増加に伴い校舎が狭隘となったため、校舎増築を実現した。また、年不詳（戦後か）ながら、大岡小学校校歌を作詞している。こうした功績から「模範校長」として知られ、大

正三年（一九一四）六月、富士郡視学に栄転、同四年六月から庵原郡視学を務め

た。同五年四月から富士郡加島尋常高等小学校に訓導兼校長として務め、大正一〇年（一九二一）三月から同一四年三月まで駿東郡楊原尋常小学校（現沼津市立第三小学校）校長を務めた。この頃、本紙表紙に掲げた岳陽少年団の団歌を作歌している。

その後、富士郡大宮尋常小学校々長（昭和七年四月～八年九月）、昭和八年（一九三三）九月から静岡県教育会主事として務め、『静岡県教育』の編集、戦時下の文教に対する論文を執筆、発表し、青年学校の教科書編集や各種の学習帳の編さん等、県教育会の重鎮として活躍した。在任中、県下小中学校児童生徒代表六名（内沼津からは二名）を引率して、皇大神宮・檀原神宮を参拝した（『沼津教育史年表』）。同一四年三月、静岡県教育会を退職後、県嘱託として学務部教育課兼知事官房秘書として五年間勤務した後、昭和一八年六月より理研電化工業株式会社（静岡市）に勤め、昭和一九年（一九四四）県庁人事課に復帰、以後歴代県知事の補佐につき県庁の生き字引と言われたという。昭和三七年（一九六二）一〇月一日、大岡青山会主催で青山老八〇歳記念祝賀会が天理教岳東大教会で開かれた。

昭和四三年（一九六八）、病没。

作詞を手がけた校歌や、撰文や書を手がけた碑が県内に多く残っている。以下に製作・建立年代順に列挙する。

・昭和十一年（一九三六）一〇月頃 楊原尋常小学校



大岡尋常小学校時代の青山於菟
明治後期
(沼津市立大岡小学校所蔵)



青山於菟墓碑
(臨濟寺・静岡市大岩)

- の開校五〇周年に際して校歌を作詞(昭和六一年三月、沼津市立第三小学校に校歌碑が建立された)
- 昭和十五年(一九四〇) 一月 静岡県立静岡農学校(現静岡県立静岡農業高等学校)の創立二五周年の校歌制定に際して作詞
- 昭和二十一年(一九四六) 九月 富士町第二国民学校(現富士市立富士第二小学校)の校歌を作詞
- 昭和三十六年(一九六一) 三月 万葉歌碑と副碑を撰文、建立(静岡市・西草深公園※元は青葉公園に建てられていた)
- 昭和三十九年(一九六四) 万葉歌碑(静岡市・日本平)を撰文
- 昭和四〇年(一九六五) 十一月 県道開設記念碑(十国ドライブウエー)の書を担当(撰文は水野成夫)
- 昭和四二年(一九六七) 静岡市城内西尋常小学校(城内西国民学校)校址碑(静岡市・駿府城公園)を建碑



沼津市立第三小学校校歌碑
(昭和61年3月13日建立)

〈参考文献〉
 青山先生還暦記念出版会編『青於山人還暦記念 華甲集』一九四三
 静岡県立教育研修所編『静岡県教育史 資料編下』一九七三
 沼津市立大岡小学校創立一〇〇周年記念誌編集委員会編『おおおか』一九七四
 静岡新聞社出版局編『静岡県歴史人物事典』一九九一



静岡城内西尋常小学校校址碑
(駿府公園・静岡市)



万葉歌碑・副碑
(西草深公園・静岡市)

夏イベント報告

★戦時中のくらしを体験しよう★



▲被弾し片足を失った岩下さんの体験を聞く

8月5日(水) 実施
参加人数：18人



▲戦時中の代用食「すいとん」作りに挑戦

今年もたくさんの方に参加していただきました。

★高校生のための一日学芸員体験講座★

8月6日(水)
8月11日(火) 実施
参加人数：13人



掛け軸の掛け方、しまい方実習
掛け軸や巻子など、普段触る機会もないので緊張気味 ▶

★平和を考える戦争史跡めぐり★

8月9日(日)・12日(水) 実施
参加人数：30人

多比にある海軍技研疎開跡 ▶
岩盤をくりぬいた地下壕
懐中電灯の灯りをたよりにいざ出発！



博物館学芸員実習

8月25日(火)～9月5日(土)の期間、4名の大学生が学芸員資格取得のための博物館実習を行いました。館業務の実習のほか、ぬましんストリートギャラリーでの館蔵資料展を実際に担当し、博物館学芸員の実務を体験しました。



展示作業の様子

看板の取り替え作業

看板の取り替えも大事なお仕事。高所の作業は怖いし大変です！



資料の裏打ち作業

古文書などの紙資料は、虫食い・破損などでボロボロになっているものも少なくありません。資料を後世に残すためにも「裏打ち」は有効です。和紙の特性を学び、レプリカを用いて裏打ちの技法を実際に体験しました。



沼津信用金庫本店(上本通)ストリートギャラリーでの今年の展示は、「Who is this 肖像画?」と題して、館蔵資料の中から肖像画をピックアップし、その人物や時代背景などについて解説をしました。

【展示期間】 9月2日(水)～29日(火)

沼津市明治史料館通信

第123号

平成27年10月25日

編集・発行 沼津市明治史料館
〒410-0051 沼津市西熊堂372-1
TEL055-923-3335
FAX055-925-3018

印刷
みどり美術印刷株式会社



観覧無料です!

休館のお知らせ

12月14日(月)～12月18日(金)の期間

展示入替作業のため、休館いたします。